

南丹市バイオマス産業都市構想の概要

京都府南丹市、人口 約3.4万人、面積 約6.2万ha

構想の概要

従来の大量生産、大量消費、大量廃棄型のライフスタイルを見直し、環境負荷の低減に努め、限りある資源を大切に活用することで、将来にわたり良好な暮らしを保つとともに、まちの持続的な発展を目指す。地域交流軸を活性化

1. 将来像

地域性を考慮したバイオマスの利活用プロジェクトを進めて地域交流軸を活性化

- ① 美山里山の活性化プロジェクト
- ② BDFの広域連携利用プロジェクト
- ③ 資源の複合利用プロジェクト

3. 目標(10年後)

バイオマス利用率

- ① 廃棄物系バイオマス97%(86%)
- ② 未利用バイオマス37%(15%)
- ③ 資源作物100%(100%) ※()は現状の利用率

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果(産業連関分析表による試算)
 - ・BDF広域連携:3,500万円
 - ・バイオマス複合プロジェクト:3,462百万円
- ② 雇用の創出:5名程度
- ③ その他
 - ・バイオマス利用率の向上
 - ・廃棄物系バイオマス97%、未利用バイオマス37%
 - ・二酸化炭素排出量の抑制:約2,750t-CO₂/年
 - 等

2. 事業化プロジェクト

- ① 美山里山の活性化プロジェクト
 - ・木質バイオマス利用促進、水資源の有効利用、BDFの活用等
- ② BDFの広域連携 プロジェクト
 - ・廃食油の活用を周辺自治体と連携して取り組む「京都モデル」を構築
- ③ バイオマス資源の複合利用プロジェクト
 - ・既存インフラを活用しつつ、処理経費削減を目指し様々なバイオマスを複合的に利用
 - ・新規メタン発酵施設を整備
- ④ 微細藻類の利用プロジェクト
 - メタン発酵消化液とCO₂を利用して微細藻類を飼料化

5. 実施体制

- ・構想全体の進捗管理・評価を行う「構想検討委員会」、事業化プロジェクトの推進する「事業化プロジェクト推進会議」、プロジェクト毎の協議会を設置。
- ・条例に基づき設置された「南丹市環境審議会」に必要な応じて諮問し、助言を得る

6. その他

- ・南丹市バイオマスタウン構想(H20)
- ・南丹市総合振興計画(前期H20・後期H24)
- ・南丹市環境基本計画(H23)

